

体験活動参加型（小学校）

学校名等	輪之内町立福束小学校
実施日時	令和元年11月28日（木）
会場	福束小学校 家庭科室
参加人数	41人（児童19人・保護者19人・教員3名）
学習課題（分野）	知育菓子教室（食育）
運営者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作ることや、それを観察したり、結果を想像したりする楽しさを知ってもらいたい。 ・ 体験の思い出を親子で共有し、家庭での楽しい会話を増やしてほしい。

学 習 の 内 容

テーマ：ねるねるね～るを使った知育菓子教室

講師：株式会社クラシエホールディングズ

対象：1年生親子

〈取組の内容〉

- ① ワークブックに沿って、ねるねる博士からの質問に答える。
 - ・ どの食べ物が「さんせい」「中せい」「アルカリせい」か？という質問は1年生には難しいと思ったが、スタッフの方からのヒントがあったため、子ども達は、真剣な眼差しで聞き、クイズに答えることができた。
 - ・ 始まって15分くらいたつと、子ども達から「さんせい！」「中せい！」などの言葉が出てくるようになった。
 - ・ クイズに正解すると「やったー！」と喜びの声があがり、とても楽しそうだった。
- ② ねるねるね～るを使った実験
 - ・ 「水を入れたら何色になると思う？」「粉を混ぜ合わせたら、どうなると思う？」等々、色んなことを想像し、友達と相談しながら作っていた。
 - ・ 色の変化を実際に体験することにより、なぜそのようになるのか、スタッフの方の丁寧な解説もあり、子どもの記憶に残る充実した時間だった。
 - ・ 最後は親子で試食タイムもあり、食べた感想をみんなで話した。



〈学級長として〉

今回、保護者が子どもの頃にあるねるねるね～るで、保護者自身の幼少期を思い出し、自分の子どもに作ったり、想像する楽しさを感じてほしいという願いから、知育菓子教室を依頼した。体験活動で楽しく学んだことから、今後の理科の授業や、自由研究のなどに役立つこともあり、子どもだけでなく、親も学べる貴重な体験になったのではないかと考えている。

家に帰ってからも、子どもが「ねるねるね～る楽しかった。」と話していたという家庭が多くあり、親子の会話もはずんだようだ。楽しい時間を共有できて、親子ともに、とてもいい機会となった。



子どもの興味・関心
子どもにとっては初めて聞く言葉もある中、お菓子を使って楽しく実験できるので、子どもだけでなく親にとっても楽しい時間となった。



親子共通の話題
保護者の中には、自分が子どもの頃に食べた事があるお菓子で、懐かしいと話す方も多かった。
そして保護者同士が幼少期の思い出を話したりして、親子の関係を深めることができた。